

## ニュースヘッドライン

---

A (朝日)、M (毎日)、Y (読売)、N (日経)、サ (産経)、H (赤旗) の略号です。新聞以外の記事は扱っておりません。また、外国関係の記事は、全て現地時間に合わせていますので、御留意下さい。

9.11 岩手県知事選—達増拓也氏再選 438,975 (民主支持)、投票率 59.92% (前田 68.53%) (9.12 A夕)

### ☆原発ゼロへの胎動—列島に広がるか

9.11 「脱原発を叫ぶ」—福島市中心部で「怒りのフクシマ大行動」／渋谷区代々木公園—「エネルギーシフトパレード」(約 900 人)、「原発もうこりこり」などのプラカード掲げ約 4 キロ行進／新宿区、「原発やめろ」1 万人デモ (9.12A)／霞が関・経産省前で「人間の鎖」で囲む(約 500 人) (9.12T夕)／群馬県高崎市、「原発なくてもエエジャナイカ大行進・第 3 弾」(600 人余)／大阪市、女性行進 (300 人)／神奈川・藤沢、1,000 人／京都市 1,600 人 (9.13H)

9.12 原発 20～30 キロ圏の避難訓練—原発状態の悪化を想定し、住民が自衛隊の誘導で／自衛隊から約 400 人、車両約 120 台、ヘリコプター 6 機参加、支援を必要とする住民 379 人 (9.12A夕)

9.11 ニューヨーク、「9.11」10 年記念式典 (世界貿易センタービル跡地) —記念式典／オバマ大統領、演説 (ワシントン) —「米国の強さは、戦争の 10 年から平和の未来へ向うことで生まれる」 (9.12A夕)

→9.12A夕 「米大統領「平和の未来へ」—9.11 演説、戦争終結急ぐ構え」

→9.13M 「『内向き』米、撤退急ぐ—同時多発テロ 10 年、続く『戦い』国民疲弊」「自衛隊の派遣常態化」「対テロ C I A 前面に、9.11 から 10 年—増える無人機攻撃、『秘密主義』に懸念も」

9.12 大阪地検特捜部・FD改ざん事件 (犯人隠避罪)、初公判—大阪地裁、元特捜部長・大坪弘道被告 (58) と元副部長・佐賀元明被告 (50)、いずれも無罪主張 (9.12A夕)

→9.12N夕 「元特捜と検察、激突—捜査資料改ざん初公判、『故意』『過失』真っ二つ」「証人に現役・OB 検事 5 人—弁護団、教え子ら 120 人—証言の信用性争点」／Y夕 「特捜隠蔽事件初公判、胸張り『元検察官』—取り調べられる側、無念さと意地」

## 9.12 被災状況

死者 1万5,783人（宮城9,457、岩手4,657、福島1,603人—9.10対比2人増）  
行方不明 4,086人（9.10対比増減なし）  
避難者 8万2,945人（8.25現在）

- 浜岡原発「再稼動」に慎重—静岡県・川勝平太知事「使用済み核燃料が処理されるめどが立つまでは再稼動させるべきではない」（定例会見）（9.13T）
- 福島県内住民の内部被曝推計「最高2ミリシーベルト」（県発表）—6月～8月末までに検査の住民3,373人、うち生涯に浴びる内部被曝量1ミリシーベルト超の推計7人（最高2mSv）—調査対象は浪江町2,483人、飯館村625人、川俣町山木屋地区213人、4～19歳が約2,600人で大半を占める（9.13A）
- 原発事故に伴う損害賠償請求手続開始

→9.13A 「避難長期化で減額反発—東電賠償受け付け開始」

→9.13Y 「戻れぬ自宅花は咲く—3.11の記録・家族—仮設生活、焦りでダウン—浪江の柴田さん一家」

## ☆ユーロ急落—EUの連帯で乗り越えられるか

→9.13 A 「ユーロ急落、株安連鎖—一時103円台、欧州経済へ不安」「ユーロ試練の時、欧州危機恐れ急落」—ギリシャ破綻懸念広がる、株安連鎖、市場に不安—各国の格差弱点」

→9.14 N 「ギリシャ危機、消せない火種—欧州発『第2のリーマン』か」

→9.13 T 「脱原発運動この先どう見る、無関心層動く、続けねば—新宿1万人、12人を逮捕『警官、多すぎ』」「地方議会と知事突破口—政権交代しても『推進』、これが本当の生活者視点」

→9.13 M 「脱原発への手順、政治主導を強調—シュレーダー独前首相『日本は先駆者に』」「脱原発『日本国民の決断次第』—独前首相、技術力を高く評価」

### →9.13 各紙社説、論説

A 「経産相交代—政治の歯車を戻すな」／「ユーロと世界—危機の拡大を防ぐには」／「耕論・震災から半年—フクシマの希望—藤原新也さん、自分の足で歩くしかない—開沼博さん、理想を語るだけでは解決せず」

M 「枝野経産相—信頼回復へ責任は重い」／「元特捜部長公判—事件の背景率直に語れ」／「仙台支局・高橋宗男「記者の目—被災地で今も続く遺体捜索、死者の尊厳守る大切さ痛感」／沢田正「地方発—内部被曝を軽視するな、原子カムラの横行で対応遅れ」

Y「枝野新経産相—TPPと原発政策で手腕示せ」／「武器輸出3原則—もう緩和の結論を出す時だ」

N「東電は原発賠償を遅滞なく進めよ」／「危険極まる管制官の情報流出」

T「経産相交代—政権担う緊張感足りぬ」／「特捜部長初公判—隠蔽体質を明らかに」／鎌田慧「本音のコラム—『さよなら原発』」

H「サッカー女子代表—選手たちの決意生かすために」／石川巖「検証・トモダチ作戦、東日本大震災の救援活動—米519司令部の実践災害版だった」

9.12 フランス核施設で爆発—フランス南部のマルクール原子力施設にある低レベル放射性廃棄物処理・調整センターで爆発、1人死亡、4人負傷(9.13A)

→9.14Y「仏、原発不安払拭に躍起—関連施設爆発、大統領選で争点」

9.13 「100歳以上」(厚労省、9.15時点で発表)—100歳以上高齢者4万7,756人(前年比3,307人増)、過去最多—女性4万1,594人(前年比3,014人増)、男性6,162人(同293人増)、女性比87.1%(9.13Y夕)

→9.16総務省集計—65歳以上高齢者人口2,980万人(総人口中23.3%)、80歳以上866万人(9.17T)

#### ☆野田政権始動—原発再稼動・増税・普天間・TPP……

9.13 第178臨時国会開会—野田首相、所信表明演説(9.13各紙夕刊)

→9.14 M「首相、際立つ低姿勢—所信表明演説、増税へ『気配り』優先—会期で反発、与野党協議不透明—成長戦略具体性欠く、TPP判断先送り—『脱原発』から現実路線に、再稼動で電力安定供給」／Y「『正心誠意』野田流所信—2匹目の『ドジョウ』、演説に使わず、野党協力訴え低姿勢—増税、成長戦略あいまい、『政治主導』は明確に転換」

#### 9.13 被災状況

死者 1万5,785人(前日比2人増)

行方不明 4,060人(前日比26人減)

避難者 8万2,945人(8.25現在)

●保健師の被曝実測値(国立ガンセンターなど発表)—福島県内で働く保険師約100人が5月の1ヶ月間で被曝した合計線量は平均約0.1ミリシーベルトの結果に(9.14A)

●IAEA、原子力安全向上「行動計画」案採択(定例理事会、全会一致)→9.19総会承認予定(9.14Y)

●(判明)福島原発、ベント不成功ならの想定—保安院が3月12日午後1時頃作成の内部文書

ー「ベントができない場合、約 10 時間後に大量の放射性物質が放出される」「気象条件によって発電所から 3～5 キロの範囲において著しい公衆被ばくのおそれがある」とした (9.13 A夕)

## ☆教育公的支出の世界最低と無人機導入の愚と

9.13 教育費公的支出「日本最下位」ー経済協力開発機構 (OECD)、08 年の GDP のうち加盟 34 ヲ国の教育費など分析/GDP のうち教育に対する国や自治体の支出割合、平均 5.0%、日本の割合 3.3%、大学教育費のうち家庭負担の割合ーOECD 平均 31.1%、日本は 66.7% (9.14Y)

### →9.14 各紙の社説、論説

- A 「野田首相演説ーあとは、やり切れるかだ」 / 「寝たきり住宅ー一体改革への重い問い」 / 東北復興取材センター長補佐・山崎靖「記者有論ー『人災の側面』、うやむやにしない勇気を」 / 「震災から半年ー私の視点×4ー浅利美鈴・片田敏孝・福島弘典・尾沢良平各氏」  
M 「所信表明演説ー『正心誠意』が胸に響かぬ」 / 「リーマン 3 年ー欧州発の危機再来防げ」 / 山口支局・吉川雄策「記者の目ー『被ばくの語り部』沼田さんの死、戦争体験ない世代の責任自問」  
Y 「所信表明演説ー日本再生へ具体的な行動を」 / 「管制官情報漏洩ー組織管理の再点検も必要だ」  
N 「首相はもっと発信し果敢に実行を」 / 「提携解消が問う自動車再編」  
T 「野田首相演説ー無駄削る具体策見えぬ」 / 「エネルギー政策ー攻めの姿勢で脱原発を」  
H 「野田首相所信表明ー国民の痛み分かっていない」

→9.14 A 「社員へやらせ指示発覚で延期、北海道電ー翌年集会でもやらせ」 / H 「北電、原発建設の会合でも『やらせ』ー地元住民 20 人に賛成依頼」

→9.14A 「森林除染落ち葉カギ、筑波大など調査ーセシウム 9 割蓄積」「原発コスト、実は 2 倍?ー1 キロワット時 12～7 円台、新試算稼動・建設費を加味」「避難準備区域、帰還完了は 3 月めどー自治体、除染には不安」

→9.14Y 「無人偵察機・軍用ロボー陸自配備へ、原子力災害に対応」

→9.14M夕 「町工場タイへ、円高『生き残れぬ』ー太田 18 工場、公益法人後押し」 / T夕 「被災地ー病院復旧進まず、手術も入院もできない」

## ☆憲法改正問題への国民の良識ー読売世論調査

9.14 Y (世論調査) 9.3、4 個別面接聴取法、1,673 人回収

- ① 関心持つ憲法問題ー戦争放棄・自衛隊 43%、環境 33%、生存権・社会保障 21%、平等と差別 20%、選挙制度 18%..

- ② 憲法改正の要否—改正する方がよい 43%、改正しない方がよい 39%、DK18%
- ③ 9条1項—改正 16%、改正不要 77%、DK6%
- ④ 9条2項—改正 35%、改正不要 55%、DK9%
- ⑤ 集団的自衛権の行使について—憲法改正して行使可能に 21%、憲法解釈を変えて行使可能に 28%、これまで通り行使不可でよい 42%、DK8%
- ⑥ 自衛隊の海外派遣のための「恒久法」の要否—そう思う 51%、そう思わない 37%、DK12%
- ⑦ 大災害などの緊急事態における立法のあり方—憲法を改正して政府の責務や権限を条文で明記 35%、憲法改正せず、新法律をつくる 39%、今のままでよい 20%、DK6%
- ⑧ 最高裁が違憲状態と指摘した衆院の一票格差について—できるだけ早く是正すべき 45%、是正を急ぐ必要はない 31%、是正は不要 12%、DK12%
- ⑨ 憲法改正の議論と国会の取組み—原案を提出して議論をすべき 36%、原案にこだわらず議論をすべき 36%、改正の議論は不要 13%、DK15%
- ⑩ 今の政治状況は憲法に関する議論にふさわしいか—ふさわしい 15%、そう思わない 74%、DK11%

## 9.15 被災状況

死者 1万5,787人（前日比2人増）

行方不明 4,059人（前日比1人減）

避難者 7万4,900人（8.25現在比8,045人減）（9.8現在）

（避難所3,439、旅館・ホテル6,411、親族・知人宅1万7,681、被災4県のぞく公営・仮設住宅4万7,369）

- 福島原発作業員6人、被曝（東電発表）—最大6ミリシーベルト（9.15T、H）
- 88人の作業員、なお所在不明（東電発表）—3月～6月に事故復旧作業に当たった作業員のうち、8.31現在、88人の所在不明（9.15A）
- 埼玉産茶—埼玉県、埼玉県産全ての製茶の販売、出荷を一時自粛するよう県茶業協会へ要請、同協会受け入れ（9.15Y）
  - A「福島土壌汚染1億m<sup>3</sup>—最大値を試算、県面積の1/7—処理の基準・保管課題」「汚染土行き場見えず—福島、仮置きに苦慮—中間貯蔵、具体案なし」「東電、寄付400億円超—20年余、原発関連自治体に」「自治体財源寄付頼み—東電『社名出さないで』—公表、他の電力会社も消極的」→9.16A「電力寄付、市町村新興を一転」
  - M「野田首相、国会初答弁—守り徹底 vs. 対決演出—谷垣総裁、党内を意識」「周知不足、募る無念—釜石『防災センター』に68遺体—本来は避難場所でなく『人災だ』」
  - N「エルピーダー国内生産の4割台湾へ、汎用半導体を全面シフト—円高長引き再編」「欧州不安アジア冷やす—日本・台湾など軒並み株価下落、景気減速波及を警戒」
  - T「終わらぬ出荷停止、福島・会津—生産者ゼロ原乳ないのに—検査できず、県『解除ルール変えて』」
  - H「この違いなに？—われらに増税を繁栄分かち合おう、欧米大企業トップ—われらに減税

を庶民には増税、日本経団連」「横須賀港に浮かぶ原子炉2基、米空母ジョージ・ワシントン直下に活断層M7.2 想定—首都圏3000万人の命の問題」

Y夕「運動会異変の秋—屋外の昼食中止、体育館で開催、土ぼこりで被曝警戒」

M夕「国連、福島事故想定『甘すぎ』—報告書、計画原発『再考を』—IAEA、世界線量網を提言」

#### →9.15 各紙社説、論説

A「代表質問—谷垣さん、広い度量で」／「教育委員会—役割を果たしているか」／大野博人「社説余滴—何とグロテスクな辞任騒ぎ」

M「代表質問—対決よりも復興進めよ」／「管制情報流れ—規律立て直しが必要だ」

Y「代表質問—与野党協調の国会へ転換せよ」／「新司法試験—合格者増へ法科大学院改革を」

N「農業を成長産業に変える改革を急げ」／「各党は論争通じ責任果たせ」

T「谷垣氏質問—日本の未来なぜ語らぬ」／「管制官の不祥事—空の信頼しっかり守れ」

H「普天間基地『移設』—『固定化』で脅すとは何事か」

#### 9.15 被災状況

死者 1万5,788人（前日比1人増）

行方不明 4,057人（前日比2人減）

避難者 7万4,900人（9.8現在）

●枝野経産相、「福島第2廃炉不可避」との見解表明—第1原発1～4号機に加え（9.16M）

●16都県の産廃焼却施設の放射性セシウム濃度調査結果（環境省発表）—福島県内の1施設14万4,200ベクレル（埋め立て可能基準1キロ辺り10万ベクレル以下）（9.16M）

→9.16 M「欧州、『二番底』現実味—債務危機深刻化、各国足並みそろわず」／Y「リーマンショック3年、欧州財政重い後遺症—『ギリシャ離脱』独仏が否定、ユーロ圏高まる疑念」／N「債務問題、経済下押し—ユーロ圏年末ゼロ成長も、欧州委予測—米中減速も影響」

→9.16 T「ルース米駐日大使に聞く—福島教訓世界学べ、脱原発『日本の問題』」「デモ逮捕は見せしめ？—『脱原発』半数以上立件見送り—過剰な規制に憲法違反の声『背景に19日の5万人集会』」

→9.16 M夕「キノコ狩り開放—福島でセシウム検出、秋の味覚に風評被害—林野庁『自治体の検査結果チェックを』」

→9.16 A夕「18の春東京激戦—不況・震災・採用試験きょう解放—大卒もライバル、被災生徒に別枠」

## →9.16 各紙社説、論説

- A 「教科書選び一広域採択に無理がある」／「八ツ場ダム一反対派交え集中討議を」／社会グループ・中井大助「記者有論一再処理工場、依存の悪循環に終止符を」
- M 「本社機能移転一立地したくなる国に」／「日本海わたる脱北一深い体制矛盾の象徴だ」
- Y 「原発本格賠償一円滑な被害救済に心を砕け」／「日本版GPS一宇宙開発の先導役目指したい」
- N 「国連で日本再生の道筋を明確に示せ」／「特許制度の統一促す米法改正」
- T 「国連と原発安全一福島をの教訓を共有せよ」／「海外視察一どうしても必要か」
- H 「復興増税一財界の身勝手を受け入れるな」

## 9.16 被災状況

死者 1万5,790人（前日比2人増）  
行方不明 4,056人（前日比1人減）  
避難者 7万4,900人（9.8現在）

→9.17A 「所得増税 10年首相指示一復興財源、法人減税3年凍結」増税の道混迷一所得税額5.5%増案、期間10年『負担感配慮』民主税調で反対派爆発」

→9.17M 「『原発、司法判断は困難』一元担当裁判官10人心情吐露『国会で議論を』」避けられた訴え現実に判決一『審査は妥当』『推進するほかない』」周辺住民敗訴重ねた40年一『安全神話』追認続け」

→9.18M 「『一生背負う』裁判官一敗訴の原告も評価」

→9.17Y 「南スーダンに陸自PKO一政府方針、施設部隊300人規模」

→9.17N 「新エネ市場、世界で86兆円一2020年、10年で2.8倍に、経産省試算一輸出比率3割、車を上回る」」TPP決断へ再始動一政府、環境整備急ぐ」

→9.18H（日曜版）「原発建設費13兆円一ゼネコン大もうけの裏側、ゼネコン5社が原子炉建屋独占」

## →9.17 各紙社説、論説

- A 「復興増税一野田新体制の試金石だ」／「郵政株売却一まずは投資に値せねば」／福島総局・小寺陽一郎「記者有論一『死のまち』騒動一福島語るタブー化懸念」／編集委員・星浩「政治考一党内融和の底流一民主党対立、再燃の危うさ」
- M 「枝野経産相発言一円滑な賠償を最優先に」／「羽生さんの快挙一早い達成をたたえる」
- Y 「復興増税一消費税を排除するのは問題だ」／「国会会期延長一『正心誠意』で臨むしかない」
- N 「復興増税とあわせ成長戦略に取り組み」／「NHKは受信料下げの徹底を」
- T 「普天間問題一『なぜ沖縄』を問い直せ」／「地域主権改革一復興とともに進めよう」

H「衆参代表質問—米・財界直結を転換してこそ」

## ☆福島の自然の恵みを奪う—放射能汚染の深刻さ

### 9.17 被災状況

死者 1万5,790人（前日比増減なし）  
行方不明 4,056人（同上）  
避難者 7万4,900人（9.8現在）

- 福島一般米も出荷可能に一矢祭町、会津坂下町で収穫されたコシヒカリなどの一般米、放射性物質検出なしで（9.18A）

→9.18A「福島米不安解消に懸命—流出業者、独自検査も」

- 福島産マツタケ、セシウム基準超（県発表）—伊達市霊山町の山林で採れたマツタケから基準値（1キロ当たり500ベクレル）を越す3,300ベクレル—伊達市ではすでに野生キノコの出荷制限←9.15国、福島県東側43市町村に対し出荷制限を指示（9.18A）

→9.17Yタ「秋の味覚東北試練、原発事故—キノコ直販所閑散／芋煮、牛から豚肉に／コメ自主検査拡大」

- 原発立地県、「ゼロ」へ行動—佐賀市、500人集会／新潟、600人集会／金沢市、520人集会とパレード（9.18H）

→9.18A「迫る廃炉ラッシュ、埋設地決まらぬまま—処分費用も巨額、事故の教訓どう活かす」

→9.18M「放射線健康被害—WHO専務部廃止、IAEAに主導権—『原子力推進と監視掌握』「ストレステスト、説明会年内8回計画—やらせ未解明、自治体『時期尚早』」「公明、衆院選挙制度改革案—『比例代表連用制』提言へ、配分小選挙区議席少ない政党優先に」

→9.18Y「震災前4,300人→1,000人に—人口細る町、石巻、旧雄町—病院、スタンド消滅・復興手つかず」

→9.18T「首都機能移転75%賛成—全国世論調査、震災もろさ懸念」

→9.18H「原発マネー、09年『原産協会』会員企業献金—自民7億、民主2,300万—原子炉メーカー・鉄鋼・ゼネコン…」

### →9.18 各紙社説、論説

A「普天間移設—『正心誠意』で出直そう」／「避難区域解除—住民の帰還は柔軟に」／編

集委員・根本清樹「ザ・コラム—政治家の宿命、言葉で生きるか滅びるか」

- M 「野田外交始動へ—世界の中の日本を語れ」／論説委員・岸本正人「論説観測—『9.11』から10年、テロ抑止の方法に違い」
- Y 「経済成長戦略—重要政策に絞って加速させよ」／「ホームドア—転落事故防止へ着実な整備を」／政治部次長・伊藤俊行「政なび—断る、任せる、決める」
- N 「定年後の雇用確保は能力開発の充実で」／「力不足を露呈した I A E A」
- T 「『日本化』を吹き飛ばせ—週のはじめに考える」
- H 「『満州事変』80年—戦争の誤り繰り返さないため」